



まちの成長を 考える



PROLOGUE

一般的にまちの成長とは、人口の増加や経済発展、都市機能の強化など、まちがより豊かで活気のある状態になることを指します。しかしながら、多くの自治体では、人口減少社会や財源の確保、また、近隣との都市間競争の激化などに直面し、どの施策をとっても安易に実現できることではありません。

そのような状況の中、常滑市はどうでしょうか。空港開港により人口増加に転じ、新規の企業も進出。高規格道路のICもあり、特急電車は主要駅に停車。6万人規模の都市にもかかわらず、大型ショッピングモールや外資系量販店もあり、国際展示場も市域に有し、東海地区最大規模の集客エリアに成長しました。

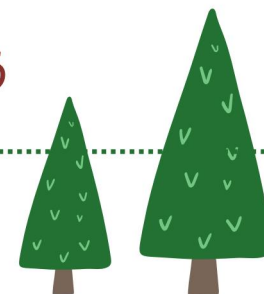
全国でも恵まれた地域に生まれ変わりました。まさに、空港開港のインパクトは20年の月日を経てまちを大きく変貌させました。つまり、他の自治体にはない優位性と可能性がこの「街」にはあります。

私たちは更に高みを目指し、健全な成長を真剣に考えていける環境下にある「常滑市」であることを強く深く認識し、このポテンシャルを生かしていかなければなりません。

常滑市が目指す安全安心成長は、まちの成長を施策を通して効果的且つ効率的に図ることで、成長で得た財源を市民生活のために、安全で安心して暮らせる環境を整えていくことと理解しています。未来を見据え、持続可能な自治体運営と共に、安定した自主財源の確保こそ、常滑市が目指す成長となると考えます。

観光需要の拡大やインバウンドによる消費の上積み、法定外目的税の増加策やふるさと納税による財源の確保、シティープロモーションによるまちのエンタメ化や賑わい創出のアイデアなど、民間企業も巻き込みながらまちの成長を、皆さんと考える一年にしたいと思います。

調査項目 常滑市の健全な成長戦略を議会で考えよう



01 ふるさと納税をまちの成長につなげよう

02 空港を通し地域の活性化を図り成長につなげよう

03 関係人口を増加させ成長につなげよう

04 ツーリズムEXPOを成功に導こう

05 企業立地促進で成長につなげよう



TOKONAME
AGEAGE

Q ふるさと納税は
まちの活力につながるの？

01





常滑市のふるさと納税額をもっと増やそう

常滑市のふるさと納税は2018年4200万円、2019年3.4億円、2020年4100万円、2021年3500万円、2022年1.1億円、2023年1.6億円と2022年から大きく改善されています。まちの素材を掘り起こし、生かしていくことで、更にふるさと納税額の増加も期待できます。2023年ベースで市民1人当たり実質収支額は約+591円、2023年で3471万円プラス収支です。

事業計画

6月協議会后、常滑市のふるさと納税現状把握勉強会を開催。7月には、専門官を公募して数年大きく納税額を伸ばしている三重県四日市市に日帰り研修を予定しています。



02

Q 中部国際空港立地を生かして
地域活性化につながるの？



02

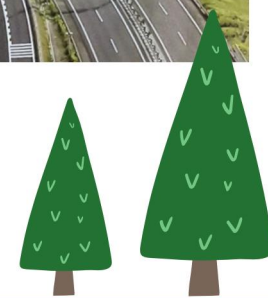
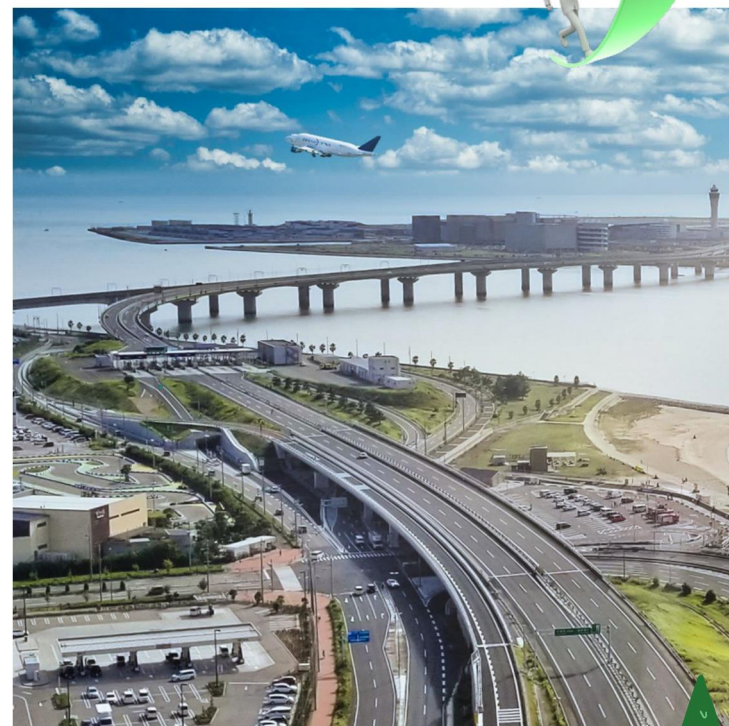
A 空港の発展は常滑市の活性化に大きく貢献します

空港を活かした成長戦略 常滑市発展に必要不可欠

2005年の開港以来、常滑市のまちは大きく変貌しました。開港から20年を迎え、代替え滑走路も着工し、浚渫土砂受け入れ事業も始まっています。交通アクセスも整備も進んでいます。現状の把握と完全24時間化空港への調査、更なる国際化への展望を研究し、未来の常滑市を考えることが必要です

事業計画

8月には、空港埋め立て事業現地調査を実施するとともに、空港会社との懇談会などを企画実施し更なる連携強化を図る。また9月には中部国際空港促進条例の勉強会や宿泊税検証会議も計画しています。



03

Q 関係人口が増えれば地域の
活力につながるの？



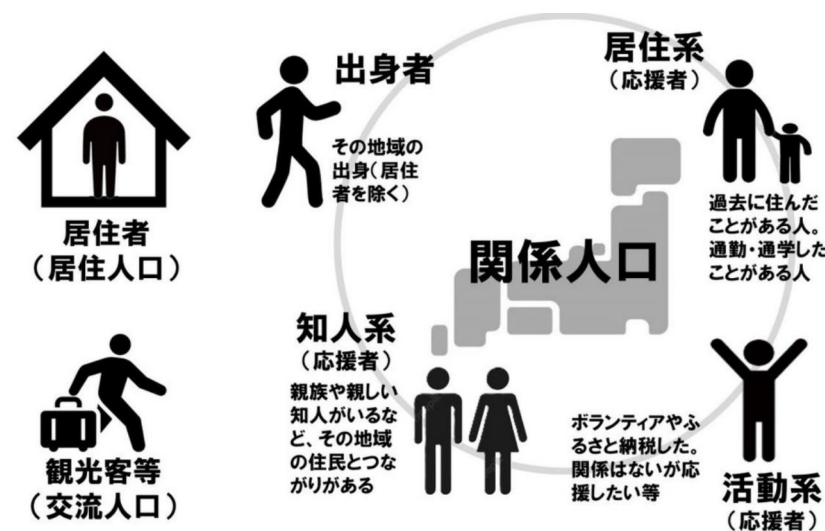


定住でも観光でもない応援人口増加策

関係人口は、地方創生や地域活性化において重要な役割を果たすと期待されています。地域との関わりを深めることで、地域経済やコミュニティを活性化し、地域課題の解決に貢献することが期待されていることから、常滑市においても、学生や就業者等との関係人口増加を模索し、Ｉターン、Ｕターン、Ｊターンのきっかけを作っていくことが将来の活力につながるため研究が必要です。

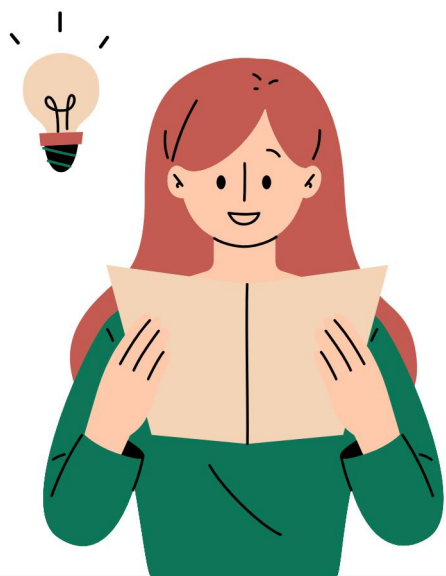
事業計画

9月には、常滑市の人口動態に関する現状把握と地域活性化に必要とされる関係人口に関する勉強会を開催します。関係人口増大のメリットとして地域の活力につながるとされています。





Q ツーリズム E X P O は常滑市の
観光 P R につながるの？



04



10万人以上の観光 関係者が常滑に集う

ツーリズム E X P O は昨年、東京ビックサイトで開催され、海外80カ国の国と地域、1,384の企業・団体が出展し、会期中の来場者数は182,934人を記録した日本最大級の観光ビックイベントです。市議会でも全面応援の体制を整え、市の P R に貢献したいと思います。

事業計画

9月25日～28日まで間、観光協会と連携し議会全体で応援に入り、全国から訪れる関係者をおもてなししたいと思います。

ツーリズム E X P O は世界から出展します。

宿泊税を効果的に活用して常滑市の観光 P R に



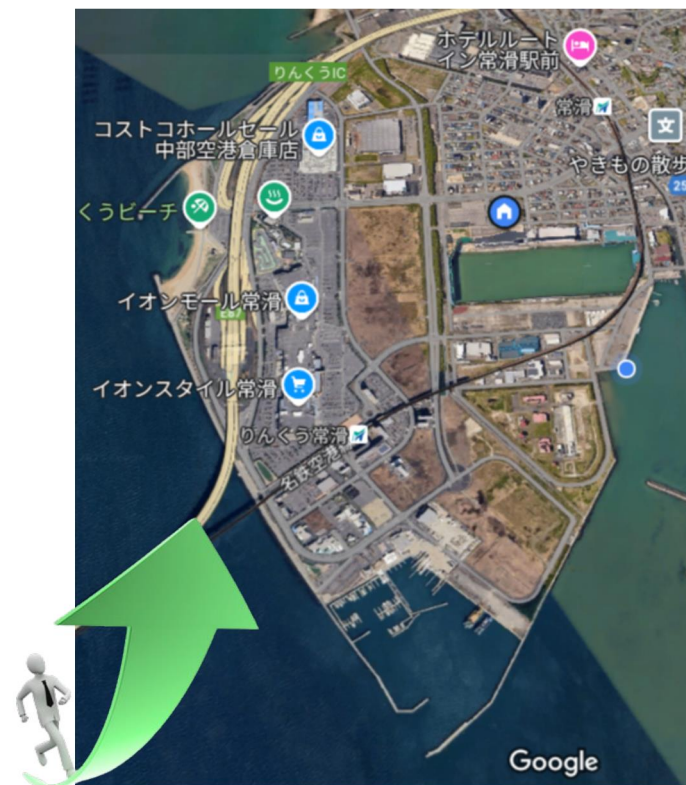
05

Q 企業立地って言うけど
簡単なことなの？



企業立地は街の元気の源 雇用確保で市内消費拡大

企業立地は常滑市の元気の原動力となりますが、一朝一夕で立地が進むほど簡単なことではありません。全国の自治体でも苦労していますが、一方で常滑市は交通アクセスや国際都市としての優位性もあります。ホテル立地が進めば、宿泊税も加算され、工場誘致が成功すれば雇用や法人税にも反映されます。より一層の調査と地道な努力が必要です。



事業計画

11月に常滑市の企業立地に大きく寄与している愛知県企業庁との意見交換会を実施し、更なる連携強化と情報共有を図るとともに、12月に商工会議所との懇談を進めます。

EPILOGUE

特別委員会として求める成果は、各調査を通して、常滑市にとって成長につながる施策を委員会で検討し、まちの成長につながる提言書をまとめることで、令和9年度以降の予算、施策へ反映してもらうことを成果として求めたい。





さあ! 次の未来へGO↑
とこなめはもっともっと成長する

ガンバレー!



TOKONAME
AGEAGE

THANK YOU!

※招き猫空港は成長イメージであり現実と異なります